

見るに心はな  
露のゆかりと思  
先ぬはたいか  
すべる契り  
遠けれあ

本ば手なれの駒に  
けば人やとがめむいつと  
ち濡る、人しもあらじ東屋に  
人妻はあなわづらはしあづまの

つむめる名やもり出でむひ  
かくれなき物としるしる夏  
恨みてもいふかひぞなきた  
荒立ちし浪に心はさわがわ  
なか絶えばかごとや負ふと  
君にかくひきとられぬる  
つきもせぬ心の闇にくる



公開シンポジウム

# 源氏物語と 日本文化の秘めた力

日時

2017年 9月16日(土) 13:00~18:30  
(受付 12:30)

会場

同志社大学寒梅館 ハーディホール  
京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町 103  
【京都市営地下鉄「今出川駅」下車】

入場  
事前申し込み不要  
無料

同志社大学 創造経済研究センターと京都と茶文化研究センターは、昨秋「茶文化の世界への発信—京都からの提言」シンポジウムを共催し、日本舞踊、能楽、茶、華といった伝統文化が京都という空間においていかに継承され、現代、そして未来にむけて発信されていくべきかについて、議論をおこなった。

本シンポジウムでは、日本文化の本質を明らかにすべく、平安文化の現代的意義を解明することからはじめ、日本文化の思想性を様々な観点から議論する。伝統的な日本文化の持つ特色を明確化するために、茶のお点前のモーシオン・キャプチャーを例にとり、産学官共同、文理融合の学術観点からも幅広く議論する。そして、日本を代表する伝統文化が、京都という「伝統」と「革新」が共存する空間において、いかに継承され、どのような形で現代社会に息づき、さらに、いかなる将来性を含んでいるのかを、各界の専門家の方々とともに考えていきたい。

日本の文化力の真髄を明らかにし、またその真髄を世界に発信していくには何が必要かを議論することは、文化を中心とした地域創生を進めるための政策を検討する上において重要な意味を持ち、文化庁の京都移転によって進める新たなる文化行政を考えていく上での課題を明らかにできると考えている。



- 主催 同志社大学 創造経済研究センター
- 共催 同志社大学 京都と茶文化研究センター  
同志社大学 ライフリスク研究センター
- 協力 文化庁地域文化創生本部
- 後援 京都府/京都市



## プログラム (敬称略)

13:00 ~ 13:10 開会のご挨拶 松岡 敬 (同志社大学学長)  
趣旨説明 佐々木 雅幸 (同志社大学経済学部教授)

## 第一部

13:10 ~ 14:10 講演「文化庁の京都移転で目指すもの」  
松坂 浩史 (文化庁地域文化創生本部事務局長)

## 第二部

14:40 ~ 16:30 講演「源氏物語」- 三角関係の謎 - 60分  
山折 哲雄 (宗教学者)

朗読「京ことばによる源氏物語の女房語り」 40分  
山下 智子 (朗読家)

## 第三部

17:00 ~ 18:30 討議会「伝統文化と現代社会 - 文理融合の可能性」  
モデレーター: 佐伯 順子 (同志社大学大学院社会学研究科教授、京都と茶文化研究センターセンター長)  
横川 隆一 (同志社大学生命医科学部教授)  
岩坪 健 (同志社大学文学部国文学科教授)  
河村 晴久 (能楽師)

閉会のご挨拶 横川隆一 (同志社大学副学長、同志社大学生命医科学部教授)

## 登壇者プロフィール (登壇順)



## 松坂 浩史【文化庁地域文化創生本部事務局長】

早稲田大学を卒業後、外資系コンサルティング会社勤務を経て、1994年に文部省(現文部科学省)入省。文化庁伝統文化課課長補佐、文部科学広報官、馳浩文部科学大臣秘書官、大臣官房参事官などを歴任。今年4月に文化庁の京都への移転に先立って京都市東山区内に設置された地域文化創生本部の事務局長に就任。現在、茂山七五三社中において大藏流狂言の稽古中。名古屋大学教育発達科学研究科博士後期課程満期退学。



## 山折 哲雄【宗教学者、評論家】

1954年、東北大学インド哲学科卒業。1959年、東北大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。専攻は宗教史・思想史。国際日本文化研究センター名誉教授(元所長)、国立歴史民俗博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授。著書に『近代日本人の宗教意識』(1996年/岩波書店)、『往生の極意』(2011年/太田出版)、『母なるガンディー』(2013年/潮出版社)など多数。



## 山下 智子【朗読家】

京都市生まれ。仲代達矢主宰の無名塾に入塾、6年間活動後移籍。この間、舞台、TVにて活動。ライフワークとして、「京ことば訳源氏物語」の女房語りを通し、失われゆく美しい京ことば、やまとの心を後世に伝えるべく源氏物語全五十四帖の連続語り会をはじめ各地で語りの会を開く。これまでにポーランド、フランス、スイスの都市で語り会を開催。



## 佐伯 順子【同志社大学大学院社会学研究科教授】

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了(1992年、学術博士)。国際日本文化研究センター客員助教授(1993-96年)ほか。専門分野は比較文化史、女性史、メディア学。主著に『遊女の文化史』(中公新書)『色』と『愛』の比較文化史(岩波書店・サンデー学芸賞、山崎賞)、『愛』と『性』の文化史(角川選書)『明治<美人>論——メディアは女性をどう変えたか』(NHKブックス)ほか。同志社大学京都と茶文化研究センターセンター長、男女共同参画推進室室長。祖母は観世流能楽師。謡・仕舞・能管をたしなむ。



## 横川 隆一【同志社大学生命医科学部教授】

博士(工学)同志社大学。1986年同志社大学工学部機械工学科卒業。1988年同志社大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程(前期課程)修了。同志社大学生命医科学部医工学科教授。副学長・研究開発推進機構長を兼任。研究分野:ロボット工学、制御工学、バイオメカニクス。



## 岩坪 健【同志社大学文学部国文学科教授】

日本古典文学研究者、同志社大学文学部国文学科教授。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒業。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1989年第16回日本古典文学会賞を受賞。1991年「源氏物語古注釈の研究 -中世源氏学の流れ-」で文学博士。2014年、『源氏物語の享受 -注釈・梗概・絵画・華道』で第15回紫式部学術賞を受賞。



## 河村 晴久【能楽師】

父河村晴夫の教えを受け3歳にて初舞台。林喜右衛門門下に師事。重要無形文化財「能楽」総合認定保持者。「猩々乱」「石橋」「道成寺」等を披く。同志社大学大学院文学研究科(博士課程前期)修了、同志社大学客員教授等歴任。ハーバード大学やユネスコ本部など海外での講演は40回を越える。2005年度文化庁文化交流使。

## お問い合わせ先

## 同志社大学創造経済研究センター事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
TEL:075-251-3728 FAX:075-251-3727  
E-mail: rc-cscc@mail.doshisha.ac.jp